



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年10月26日

上場会社名 モーニングスター株式会社
コード番号 4765 URL <https://www.morningstar.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 朝倉 智也
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理部長 (氏名) 小川 和久 TEL 03-6229-0810
四半期報告書提出予定日 2022年11月4日 配当支払開始予定日 2022年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト・機関投資家向け、当社ウェブサイトにて動画開示予定

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-------|-----|-------|------|-------|------|----------------------|-----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第2四半期 | 4,080 | 3.6 | 1,022 | 2.9 | 1,234 | 4.9 | 725 | 0.3 |
| 2022年3月期第2四半期 | 3,937 | 8.9 | 993 | 13.9 | 1,176 | 10.0 | 724 | 3.9 |

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 746百万円 (48.3%) 2022年3月期第2四半期 1,445百万円 (66.2%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期第2四半期 | 8.10 | |
| 2022年3月期第2四半期 | 8.07 | |

潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年3月期第2四半期 | 13,711 | 12,207 | 85.2 | 125.90 |
| 2022年3月期 | 14,055 | 12,273 | 84.0 | 131.64 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 11,682百万円 2022年3月期 11,804百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | | 8.00 | | 9.00 | 17.00 |
| 2023年3月期 | | 8.25 | | | |
| 2023年3月期(予想) | | | | | |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年3月期の期末配当予想額は現時点で未定であります。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

業績予想につきましては、現時点では未定であります。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 社 (社名)

除外 2 社 (社名)

SBIボンド・インベストメント・マネジメント株式会社、SBI地方創生アセットマネジメント株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|------------|--------------|----------|--------------|
| 2023年3月期2Q | 89,673,600 株 | 2022年3月期 | 89,673,600 株 |
|------------|--------------|----------|--------------|

期末自己株式数

| | | | |
|------------|-------|----------|-------|
| 2023年3月期2Q | 170 株 | 2022年3月期 | 170 株 |
|------------|-------|----------|-------|

期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|------------|--------------|------------|--------------|
| 2023年3月期2Q | 89,673,430 株 | 2022年3月期2Q | 89,673,430 株 |
|------------|--------------|------------|--------------|

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(2023年3月期の配当予想)

2023年3月期の期末配当予想は未定であります。今後の業績等を総合的に勘案して、1株当たり配当を決定次第開示いたします。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2022年10月26日にアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会の動画は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| 3. その他 | 14 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(1) 連結業績の概況

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)の連結業績は、世界的に株式、債券ともに大幅に下落する厳しい市場環境の中、アセットマネジメント事業においては、当グループの運用残高は前年同期末(2021年9月30日)から当四半期末(2022年9月30日)までに6,112億円拡大し、運用残高の増加に伴う運用報酬(信託報酬)も増加いたしました。その結果、アセットマネジメント事業の売上高は前年同期(2021年4月1日～2021年9月30日)より113百万円(3.9%)増収の3,020百万円となりました。

ファイナンシャル・サービス事業においては、販売金融機関のアドバイザーが活用するタブレット端末向けの「Wealth Advisors」の提供台数が引き続き増加し、また、金融機関がインターネット上で活用する当社独自開発の運用関連ツール・アプリケーションの提供先も増加いたしました。その結果、ファイナンシャル・サービス事業の売上高は前年同期より29百万円(2.9%)増収の1,059百万円となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高が前年同期の3,937百万円から4,080百万円(3.6%)の増収となる4,080百万円となりました。

また、売上原価は、前年同期の1,791百万円から30百万円(1.7%)増加し、1,821百万円となり、販売費及び一般管理費は、前年同期の1,152百万円から83百万円(7.2%)増加し1,235百万円となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益は、前年同期の993百万円から1,022百万円(2.9%)の増益となる1,022百万円となりました。

営業外損益は、前年同期と比べ、営業外収益が22百万円増加し、営業外費用6百万円減少して、当第2四半期連結累計期間の経常利益は、前年同期の1,176百万円から1,234百万円(4.9%)の増益となる1,234百万円となりました。

上記の結果、税金等調整前四半期純利益は、前年同期の1,172百万円から1,228百万円(4.8%)の増益となる1,228百万円となりましたが、前年同期は米国の子会社 Carret Asset Management LLCの過年度税金の戻りがあり、その分親会社株主に帰属する四半期純利益が大きくなっていたため、当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期の724百万円から1百万円(0.3%)の増益となる725百万円となりました。

[業績の概要]

| | 2022年3月期第2四半期 連結累計期間 | | 2023年3月期第2四半期 連結累計期間 | | 増減 | |
|----------------------|-------------------------|--------|-------------------------|--------|---------|-------|
| | 金額(千円) | 利益率(%) | 金額(千円) | 利益率(%) | 金額(千円) | 比率(%) |
| 売上高 | 3,937,555 | | 4,080,237 | | 142,682 | 3.6 |
| 営業利益 | 993,569 | 25.2% | 1,022,580 | 25.1 | 29,010 | 2.9 |
| 経常利益 | 1,176,443 | 29.9% | 1,234,243 | 30.2 | 57,799 | 4.9 |
| 親会社株主に帰属 する四半期純利益 | 724,028 | 18.4% | 725,949 | 17.8 | 1,921 | 0.3 |

連結売上高は11期連続の増収、6期連続で過去最高の売上を更新いたしました。

営業利益は3期連続の増益、2期連続の過去最高益を達成いたしました。

経常利益は13期連続の増益、11期連続の最高益を達成いたしました。

親会社株主に帰属する当期純利益は13期連続の増益、8期連続の過去最高益を達成いたしました。

セグメント別売上高、サービス別売上高は、以下のとおりであります。

| セグメント別売上高 | 前第2四半期連結累計期間 2021年4月1日から 2021年9月30日まで | | 当第2四半期連結累計期間 2022年4月1日から 2022年9月30日まで | | 増加率 (%) |
|-----------------|---------------------------------------------|--------|---------------------------------------------|--------|------------|
| | 金額(千円) | 構成比(%) | 金額(千円) | 構成比(%) | |
| アセットマネジメント事業 | 2,907,482 | 73.8 | 3,020,514 | 74.0 | 3.9 |
| ファイナンシャル・サービス事業 | 1,030,072 | 26.2 | 1,059,723 | 26.0 | 2.9 |
| 連結売上高 | 3,937,555 | 100.00 | 4,080,237 | 100.0 | 3.6 |

1) アセットマネジメント事業

子会社の運用会社2社および投資助言会社1社の運用残高は、前年同期末(2021年9月末)の3.33兆円から当四半期期末(2022年9月末)の3.94兆円と18.3%増加いたしました。運用残高の拡大に伴い、運用報酬(信託報酬)が増加したことにより、アセットマネジメント事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期の2,907百万円から113百万円(3.9%)の増収となる3,020百万円となりました。

セグメント利益は、前年同期の747百万円から4百万円(0.6%)の増益となる751百万円となりました。

2) ファイナンシャル・サービス事業

投資信託の販売金融機関が活用する「Wealth Advisors」の提供台数が前年同期末の112,630台から2,471台(2.2%)増加し、115,101台となり、タブレット・アプリケーションのデータ売上が増加いたしました。また、金融機関がオンライン上で活用する当社独自開発の運用関連ツールの利用先も拡大した結果、ファイナンシャル・サービス事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期の1,030百万円から29百万円(2.9%)の増収となる1,059百万円となりました。

セグメント利益は、前年同期の246百万円から24百万円(10.1%)の増益となる271百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

資産合計は前連結会計年度末と比較して343百万円減少し、13,711百万円となりました。

これは、流動資産が3,045百万円減少し、固定資産が2,707百万円増加したことによるものであります。流動資産の減少は、主として現金及び預金が2,563百万円減少したことによるものであります。

現金及び預金の減少は、配当金を807百万円支払い、投資有価証券を3,000百万円購入したことによるものであります。

固定資産の増加は、主として投資有価証券が2,644百万円増加したこと、のれんが96百万円増加したことによるものであります。

投資有価証券はその他の有価証券を3,000百万円購入したことによるものであります。

のれんの増加は、米国子会社にかかるのれんが為替換算により円価額が増加したものであります。また、負債合計は前連結会計年度末と比較して277百万円減少し、1,504百万円となりました。

負債の減少は、主として未払法人税等が201百万円減少したことによるものであります。未払法人税の減少は、税金の支払のタイミングによるものであります。

当第2四半期連結累計期間に725百万円の親会社株主に帰属する当期純利益が計上され、807百万円の配当を行なった結果、利益剰余金が81百万円減少し、4,358百万円となりました。

その他有価証券評価差額金は、その他の有価証券の時価の下落により、329百万円減少いたしました。

為替換算調整勘定の増加は、円安により米国子会社の株式取得時の換算レートと当四半期の換算レートの差が拡大したことにより264百万円増加いたしました。

その結果、純資産合計は、前連結会計年度末と比較して65百万円減少し、12,207百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ2,547百万円減少し、2,629百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは前年同期と比べ、1,259百万円増加し、1,528百万円の収入となりました。

これは、主として、税金等調整前四半期純利益1,228百万円の計上、法人税等の納付535百万円及び還付644百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは前年同期と比べ、3,019百万円減少し、3,151百万円の支出となりました。

これは、主として、無形固定資産の取得による支出137百万円、投資有価証券の取得3,000百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは前年同期に比べ、57百万円減少し、849百万円の支出となりました。

これは、主として、配当金の支払額が807百万円となり、リース債務の支払が33百万円となったことによるものであります。

(3) 優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、当社事業と関連性の高い金融市場において、その動向を当期を通じて、想定するのは難しく、当社グループの業績を、現時点では合理的な算定を行なうことが困難であるため、現時点では未定とさせていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,176,612 | 2,612,939 |
| 売掛金 | 1,611,378 | 1,673,899 |
| 棚卸資産 | ※1 1,263 | ※1 1,475 |
| その他 | 814,825 | 270,343 |
| 流動資産合計 | 7,604,080 | 4,558,657 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | ※2 149,951 | ※2 101,215 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,786,713 | 1,883,708 |
| ソフトウェア | 1,076,849 | 1,225,785 |
| その他 | 282,050 | 32,470 |
| 無形固定資産合計 | 3,145,612 | 3,141,963 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,624,582 | 5,268,900 |
| 繰延税金資産 | 345,615 | 438,642 |
| その他 | 166,511 | 188,794 |
| 投資その他の資産合計 | 3,136,709 | 5,896,336 |
| 固定資産合計 | 6,432,274 | 9,139,516 |
| 繰延資産 | | |
| 株式交付費 | 19,003 | 13,795 |
| 繰延資産合計 | 19,003 | 13,795 |
| 資産合計 | 14,055,358 | 13,711,969 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 62,618 | 56,685 |
| 未払金 | 748,528 | 741,309 |
| リース債務 | 69,089 | 11,905 |
| 未払法人税等 | 464,822 | 262,896 |
| 未払消費税等 | 90,498 | 32,333 |
| その他 | 346,255 | 399,099 |
| 流動負債合計 | 1,781,813 | 1,504,230 |
| 負債合計 | 1,781,813 | 1,504,230 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,363,635 | 3,363,635 |
| 資本剰余金 | 4,478,772 | 4,503,021 |
| 利益剰余金 | 4,439,392 | 4,358,281 |
| 自己株式 | △29 | △29 |
| 株主資本合計 | 12,281,770 | 12,224,908 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △513,787 | △843,576 |
| 為替換算調整勘定 | 36,309 | 300,873 |
| その他の包括利益累計額合計 | △477,478 | △542,702 |
| 非支配株主持分 | 469,252 | 525,531 |
| 純資産合計 | 12,273,545 | 12,207,738 |
| 負債純資産合計 | 14,055,358 | 13,711,969 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|------------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 売上高 | 3,937,555 | 4,080,237 |
| 売上原価 | 1,791,641 | 1,821,803 |
| 売上総利益 | 2,145,913 | 2,258,433 |
| 販売費及び一般管理費 | ※1 1,152,343 | ※1 1,235,853 |
| 営業利益 | 993,569 | 1,022,580 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 118,511 | 87,064 |
| 受取配当金 | 44,366 | 114,169 |
| 投資有価証券売却益 | 26,918 | 15,520 |
| その他 | 5,889 | 1,589 |
| 営業外収益合計 | 195,685 | 218,344 |
| 営業外費用 | | |
| 為替差損 | 7,446 | 252 |
| 株式交付費償却 | 4,449 | 5,208 |
| その他 | 915 | 1,220 |
| 営業外費用合計 | 12,811 | 6,680 |
| 経常利益 | 1,176,443 | 1,234,243 |
| 特別損失 | | |
| 暗号資産評価損 | - | 4,848 |
| 投資有価証券売却損 | ※2 4,035 | ※2 974 |
| 特別損失合計 | 4,035 | 5,822 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,172,408 | 1,228,421 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 318,118 | 354,887 |
| 法人税等調整額 | △4,085 | 61,486 |
| 法人税等合計 | 314,032 | 416,374 |
| 四半期純利益 | 858,375 | 812,047 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 134,347 | 86,097 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 724,028 | 725,949 |

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|-----------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 四半期純利益 | 858,375 | 812,047 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 581,435 | △329,788 |
| 為替換算調整勘定 | 5,907 | 264,564 |
| その他の包括利益合計 | 587,342 | △65,224 |
| 四半期包括利益 | 1,445,717 | 746,822 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,281,271 | 666,295 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 164,446 | 80,527 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|----------------------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,172,408 | 1,228,421 |
| 減価償却費 | 218,929 | 227,454 |
| 長期前払費用償却額 | 2,503 | 2,455 |
| のれん償却額 | 53,713 | 58,872 |
| 株式交付費償却 | 4,449 | 5,208 |
| 受取利息及び受取配当金 | △162,877 | △201,234 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | △22,883 | △14,546 |
| 為替差損益 (△は益) | 7,441 | △632 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △245,406 | △128,231 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △156 | △211 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △10,694 | △5,932 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | △92,720 | 63,104 |
| その他の流動資産の増減額 (△は増加) | △333,014 | 122,940 |
| その他の流動負債の増減額 (△は減少) | 27,935 | 2,668 |
| 小計 | 619,627 | 1,360,336 |
| 利息及び配当金の受取額 | 19,297 | 58,811 |
| 法人税等の支払額 | △375,368 | △535,401 |
| 法人税等の還付額 | 5,954 | 644,803 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 269,510 | 1,528,549 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △7,283 | △1,637 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △161,184 | △137,668 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 7,000 | 8,027 |
| 投資有価証券の取得による支出 | - | △3,000,000 |
| 関係会社株式の売却による収入 | 33 | - |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 30,000 | - |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | - | △19,779 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △131,435 | △3,151,058 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 配当金の支払額 | △762,224 | △807,060 |
| 連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出 | - | △9,000 |
| リース債務の返済による支出 | △29,829 | △33,865 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △792,053 | △849,925 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 17,231 | △75,010 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △636,747 | △2,547,445 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 4,904,960 | 5,176,908 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | ※ 4,268,212 | ※ 2,629,463 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の変更

第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であったSBIボンド・インベストメント・マネジメント株式会社及びSBI地方創生アセットマネジメント株式会社は、同じく当社の連結子会社であるSBIアセットマネジメント株式会社を吸収合併存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 棚卸資産の内訳

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日) |
|-----|-------------------------|------------------------------|
| 仕掛品 | -千円 | 15千円 |
| 貯蔵品 | 1,263千円 | 1,460千円 |

※2 有形固定資産の減価償却累計額

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日) |
|---------|-------------------------|------------------------------|
| 減価償却累計額 | 275,627千円 | 281,692千円 |

(四半期連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|-------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 従業員給与 | 486,407千円 | 507,309千円 |

(四半期連結キャッシュ・フロー関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|------------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 現金及び預金勘定 | 4,267,916千円 | 2,612,939千円 |
| 証券口座預け金(その他流動資産) | 296 | 16,523 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 4,268,212 | 2,629,463 |

(株主資本関係)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(1) 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当の原資 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 |
|--------------------|-------|-------|----------------|-----------------|------------|-----------|
| 2021年5月14日 取締役会 | 普通株式 | 利益剰余金 | 762,224 | 8.50 | 2021年3月31日 | 2021年6月1日 |

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

| 決議 | 株式の種類 | 配当の原資 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生予定日 |
|--------------------|-------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|
| 2021年9月22日 取締役会 | 普通株式 | 利益剰余金 | 717,387 | 8.00 | 2021年9月30日 | 2021年12月1日 |

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(1) 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当の原資 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 |
|--------------------|-------|-------|----------------|-----------------|------------|-----------|
| 2022年5月19日 取締役会 | 普通株式 | 利益剰余金 | 807,060 | 9.00 | 2022年3月31日 | 2022年6月1日 |

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

| 決議 | 株式の種類 | 配当の原資 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生予定日 |
|--------------------|-------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|
| 2022年9月22日 取締役会 | 普通株式 | 利益剰余金 | 739,805 | 8.25 | 2022年9月30日 | 2022年12月1日 |

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引等

当社は、2022年6月23日開催の取締役会において、連結子会社であるSBIアセットマネジメント株式会社、SBIボ
ンド・インベストメント・マネジメント株式会社およびSBI地方創生アセットマネジメント株式会社を、SBIア
セットマネジメント株式会社を存続会社として吸収合併することを決議し、2022年8月1日付で当該吸収合併を行いま
した。

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称およびその事業の内容

①. 吸収合併存続会社

名称：SBIアセットマネジメント株式会社

事業内容：株式ファンドを中心とする公募・私募の投資信託の組成・運用

②. 吸収合併消滅会社

1) 名称：SBIボンド・インベストメント・マネジメント株式会社

事業内容：債券ファンドを中心とする公募・私募の投資信託の組成・運用

2) 名称：SBI地方創生アセットマネジメント株式会社

事業内容：地域金融機関の自己資金運用のための投資信託等の運用

(2) 企業結合日 2022年8月1日

(3) 企業結合の法的形式

SBIアセットマネジメント株式会社を吸収合併存続会社、SBIボンド・インベストメント・マネジメント株式
会社およびSBI地方創生アセットマネジメント株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併。

(4) 結合後企業の名称

変更ありません。

(5) 取引の目的を含む取引の概要

当社グループのアセットマネジメント事業には、低コストのインデックスファンドを中心に組成・運用を行うSBIアセットマネジメント株式会社、地域金融機関の高度化および多様化支援のため、私募投信の組成・運用を主に行うSBIボンド・インベストメント・マネジメント株式会社とSBI地方創生アセットマネジメント株式会社を含む計9社があります。

システム、データ、人員等の経営資源を統合し、業務の効率化と収益力の強化を図り、リスク管理体制およびコンプライアンス体制の一層の強化を図ることを目的に本合併を行いました。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)および「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年9月30日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 差異調整に関する事項 | 連結財務諸表計上額 |
|-------------------|--------------|-----------------|-----------|------------|-----------|
| | アセットマネジメント事業 | ファイナンシャル・サービス事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,907,482 | 1,030,072 | 3,937,555 | - | 3,937,555 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 37 | 12,094 | 12,131 | △12,131 | - |
| 計 | 2,907,520 | 1,042,166 | 3,949,686 | △12,131 | 3,937,555 |
| セグメント利益 | 747,289 | 246,280 | 993,569 | - | 993,569 |

当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 差異調整に関する事項 | 連結財務諸表計上額 |
|-------------------|--------------|-----------------|-----------|------------|-----------|
| | アセットマネジメント事業 | ファイナンシャル・サービス事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,020,514 | 1,059,723 | 4,080,237 | - | 4,080,237 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 80 | 11,829 | 11,910 | △11,910 | - |
| 計 | 3,020,595 | 1,071,552 | 4,092,148 | △11,910 | 4,080,237 |
| セグメント利益 | 751,404 | 271,175 | 1,022,580 | - | 1,022,580 |

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 売上高 | 前第2四半期連結累計期間 | 当第2四半期連結累計期間 |
|----------------|--------------|--------------|
| 報告セグメント計 | 3,949,686 | 4,092,148 |
| セグメント間取引消去 | △12,131 | △11,910 |
| 四半期連結損益計算書の売上高 | 3,937,555 | 4,080,237 |

(単位:千円)

| 利益 | 前第2四半期連結累計期間 | 当第2四半期連結累計期間 |
|-----------------|--------------|--------------|
| 報告セグメント計 | 993,569 | 1,022,580 |
| セグメント間取引消去 | - | - |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 993,569 | 1,022,580 |

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益に関する情報)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|-------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| (1) 1株当たり四半期純利益金額 | 8円07銭 | 8円10銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円) | 724,028 | 725,949 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額(千円) | 724,028 | 725,949 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 89,673,430 | 89,673,430 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりませ ん。 | | |

(重要な後発事象)

当社は、2022年9月22日開催の取締役会において、新生インベストメント・マネジメント株式会社の全株式を2022年10月3日に取得し、子会社とすること（以下、本株式取得）を決議し、2022年10月3日に株式を取得し、同社を子会社としました。

本株式取得の概要は、以下のとおりであります。

1. 子会社化（株式取得）の目的

当社は、SBIグループの資産運用事業の中核的企業として、個人投資家ならびに機関投資家の的確な資産運用に資するため、良質かつ低コストの運用商品を提供しております。当社子会社の資産運用残高は子会社のSBIアセットマネジメント株式会社（以下、SBIアセットマネジメント）を中心に急速に拡大しており、2022年8月末現在で3兆9千億円となります。

新生インベストメント・マネジメントは公募ならびに私募の投資信託の運用を行っており、その資産運用残高は、2022年8月末現在で5,775億円であり、このたび新生インベストメント・マネジメントを子会社化することで、当社グループ全体の資産運用残高は4兆5千億円に拡大いたします。

現在、SBIアセットマネジメントをはじめとした当社グループの運用会社が提供する運用商品は、公募の株式型インデックスファンドや、主に地域金融機関から運用を受託している私募の債券型ファンドが中心ですが、このたび子会社化する新生インベストメント・マネジメントが主として運用するアクティブファンド・オブ・ファンズ等の運用商品が加わることで、当社グループの提供可能な運用商品の資産クラスの幅が広がり、個人投資家ならびに機関投資家の最適な資産運用に一層貢献することができるものと考えております。

当社子会社の運用各社と新生インベストメント・マネジメントを連結で運営管理することは、グループ全体の営業力ならびに商品組成力を強化し、ミドル・バックのシステムの効率化を図ることができ、ひいてはリスク管理およびコンプライアンス体制の強化につながるものと考えております。

このたびの新生インベストメント・マネジメントの子会社化で、当社グループのアセットマネジメント事業の業容ならびに運用残高が一層拡大し、さらなる収益力の向上を図ることが可能となります。

(参考) 2022年8月31日現在の資産運用残高

(単位：億円)

| 当社グループ計 | 新生インベストメント・マネジメント | 計 |
|---------|-------------------|--------|
| 39,612 | 5,775 | 45,387 |

当社グループ計の内訳

| SBIアセットマネジメント | Carret Asset Management | モーニングスター・アセット・マネジメント | 当社グループ計 |
|---------------|-------------------------|----------------------|---------|
| 33,531 | 4,192 | 1,889 | 39,612 |

2. 株式取得の主な内容

(1) 取得株数、金額及び発行済株式総数に対する割合

| | | |
|-----------------|--------------------------|--------|
| ① 異動する子会社 | 新生インベストメント・マネジメント株式会社 | |
| ② 取得の相手先及び取得株数 | 取得の相手先 | 取得株数 |
| | 株式会社新生銀行 | 9,900株 |
| ③ 金額 | 1,300,000千円 | |
| ④ 発行済株式総数に対する割合 | 100% (発行済株式総数 9,900株) | |

(2) 取得前及び取得後の所有株式数及び所有割合

| | | |
|-------------------|-----------------------|------|
| ① 異動する子会社 | 新生インベストメント・マネジメント株式会社 | |
| | 所有株式数 | 所有割合 |
| ② 取得前の所有株式数及び所有割合 | — | — |
| ③ 取得後の所有株式数及び所有割合 | 9,900株 | 100% |

(3) 株式取得の方式

株式取得の対価を現金といたします。

(4) 株式取得の日程

取締役会決議日 : 2022年9月22日
 契約締結日 : 2022年10月3日
 株式売買代金の払込 : 2022年10月3日

3. 異動する子会社の概要 (2022年9月22日現在)

| | | | | |
|-----|------------------|------------------------------------------------------------|-------------|-------------|
| (1) | 名称 | 新生インベストメント・マネジメント株式会社 | | |
| (2) | 本店所在地 | 東京都中央区日本橋室町二丁目4番3号 | | |
| (3) | 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長 平井 治子 | | |
| (4) | 事業内容 | 投資運用業、投資助言・代理業及び第二種金融商品取引業に係る業務 | | |
| (5) | 資本金の額 | 495,000千円 | | |
| (6) | 設立年月日 | 2001年12月17日 | | |
| (7) | 大株主及び持株比率 | 大株主 | 持株比率 | |
| | | 株式会社新生銀行 | 100% | |
| | | 新生銀行は、当社の親会社であるSBIホールディングスの子会社であります。 | | |
| (8) | 上場会社と当該会社との関係 | | | |
| | 関連当事者への該当状況 | 新生インベストメント・マネジメントは当社の親会社であるSBIホールディングスの子会社であり、関連当事者に該当します。 | | |
| | 資本関係 | 該当事項はありません。 | | |
| | 人的関係 | 該当事項はありません。 | | |
| | 取引関係 | 該当事項はありません。 | | |
| (9) | 最近3年間の財政状況及び経営成績 | (1株あたり情報を除き、単位:千円) | | |
| | | 2020年3月期 | 2021年3月期 | 2022年3月期 |
| | 純資産 | 982,000 | 990,903 | 1,149,416 |
| | 総資産 | 1,318,374 | 1,355,577 | 1,620,476 |
| | 1株当たり純資産 | 99,191円95銭 | 100,091円23銭 | 116,102円68銭 |
| | 売上高 | 1,484,243 | 1,466,886 | 1,939,121 |
| | 営業利益 | 56,225 | 34,510 | 220,934 |
| | 経常利益 | 55,869 | 16,619 | 219,853 |
| | 当期純利益 | 36,256 | 8,902 | 158,513 |
| | 1株当たり当期純利益 | 3,662円23銭 | 899円27銭 | 16,011円44銭 |
| | 1株当たり配当金 | －円 | －円 | －円 |

3. その他

2022年9月22日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額……………739,805千円

(ロ) 1株当たりの金額……………8円25銭

(ハ) 支払請求の効力発生予定日及び支払開始予定日……………2022年12月1日

(注) 2022年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。